

第4次行政改革推進計画の平成24年度取組結果

1 取組結果の概要

大項目1	行財政改革による行財政運営の適正化	平成24年度の進捗状況
		概ね順調に進捗

【目指すべき姿】

市民ニーズに即し、持てる経営資源を最大限活用しながら、最少の経費で最大の効果を発揮できる行財政運営の実現を目指す。

【平成24年度の取組状況と「目指すべき姿」に向けた進捗状況】

政策協議と事業評価を実施し、真に必要なサービスの安定的な提供と将来への価値ある投資の実現に向けた取組を推進したほか、健全財政の推進に当たっては、一部で十分でなかった取組があったものの、長年の懸案であった土地開発公社債務の抜本的な整理や、公の施設の再配置など、将来的な財政負担の軽減に一定寄与することができた。

組織機構改革の取組では、職員数の適正化を推進するとともに、総合事務所産業建設グループ集約の試行実施の体制を整えた。このほか、人事異動の基本原則に基づく配置換えと階層別の各種研修の実施等を通じ、職員の資質・能力の向上と意欲、充実感を高めるための取組を進めた。

中項目(1) マネジメントシステムの強化

概ね順調に進捗

【目指すべき姿】

持続可能な「すこやかなまち」づくりのために、真に必要なサービスの安定的提供と将来への価値ある投資を着実にを行うことを目指す。

【平成24年度の取組状況と「目指すべき姿」への進捗状況】

政策協議では、第5次総合計画を着実に進捗するための「重点施策」と最優先に取り組むべき課題として「3つの重点テーマ」を掲げ、これに基づく施策の重点化と主要事業の選択を実施した。

P D C Aサイクルによる事業評価を実施し、事業の必要性和効果的・効率的な事業実施の観点から検証・評価を行い、その結果を平成25年度予算に反映し、必要な事業に所要の予算配分を行った。

これらの取組により、真に必要なサービスの安定的な提供と将来への価値ある投資の実現に一定寄与することができた。

《課題・改善点》

政策協議では、協議結果と予算編成との関連付けを一層強化するため、フォローアップ体制の改善及び調整機能の強化に取り組む必要がある。

事業評価については、概ね評価結果に基づく取組が進められ、平成25年度予算へ反映することができた。今後より一層の実効性を高めるため、進捗管理を徹底する必要がある。

中項目(2) 健全財政の推進

概ね順調に進捗

【目指すべき姿】

毎年度の歳入・歳出予算の均衡が保たれるよう計画的な財政運営を維持するとともに、基礎的サービスを適切かつ安定的に提供するため、自主財源の確保や特定財源の発掘、歳出削減に取り組み、財政基盤の強化を目指す。

【平成 24 年度の実績と「目指すべき姿」に向けた進捗状況】

事業評価の結果に基づく改善・廃止に向けた取組の進捗管理を徹底し、その結果を平成 25 年度予算に反映したほか、「各種整備計画」に基づき、優先度の高い事業から予算配分を行うなど、計画的な財政運営を図った。

財政調整基金については、大雪災害へ対応するために取り崩したものの、災害等不測の事態や多額の一般財源を要する事業等への財源として一定額を確保することができた。

学校給食調理業務の民間委託について、委託校は 3 校増の 16 校となり、人件費等の経費削減を図るとともに、平成 25 年度の新規委託校 3 校の計画を前倒しして 5 校で実施できるよう準備を整え、将来負担の軽減を図る取組を強化した。

公の施設の見直しでは、「公の施設の再配置計画」や「保育園の再配置等に係る計画」、「公の施設の除却計画」に基づき、施設の効率的・効果的な配置や不用施設の除却を進め、将来負担の軽減を図った。

第三セクター等の経営改善では、第三セクター 7 社による「持株会社設立準備会」を立ち上げ、抜本的な経営改善の足掛かりを作るとともに、土地開発公社については、三セク債を発行し公社債務を解消するなど、将来負担の軽減を図る取組を進めた。

公営企業等の経営健全化では、ガス・水道事業等において、未納料金の縮減や使用料の増収など一部の項目で目標数値を達成できなかったが、全体的に計画どおり順調に進捗しており、健全経営の維持に寄与することができた。

《課題・改善点》

手数料・使用料の改定については、基本方針策定に向けた検討等を行ったものの、料金改定には至らなかったため、今後、料金改定に向けた取組を推し進めていく必要がある。

各種特別会計の必要性の検証等について、地球環境特別会計の一般会計化に向けた検討を進めたが、今後、当該取組の目的・効果を改めて検証・整理し、実効性ある内容にしていく必要がある。

公の施設の再配置にあたり、地元等との丁寧な協議を通じて、合意形成を図るとともに、戦略的な視点をもって取り組むよう留意する必要がある。

歳入確保の取組では、収納率の向上で一部、目標数値を達成できなかったことから、引き続き、効果的かつ効率的な滞納整理の体制を検討するなど、自主財源の基盤である市税等の収納率向上を図る必要がある。

不用な資産の売却と貸付については、目標数値は達成したが、普通財産が増加する状況を踏まえ、販売促進策を策定し、売却・貸付計画を見直していく必要がある。

中項目(3) 組織機構改革

順調に進捗

【目指すべき姿】

複雑多様化する市民ニーズや新たな行政課題への対応に向けて、真に必要な職員数を定め適正に管理するとともに、簡素で機能的な組織機構の構築を目指す。

【平成 24 年度の取組状況と「目指すべき姿」に向けた進捗状況】

定員適正化計画に基づき、組織全体の業務量、職員の退職・辞職の動向等を踏まえ、職員の定員管理と適正な人員配置を行った。また、平成 25 年度当初からの総合事務所産業建設グループ集約について、議会及び地域協議会等へ丁寧に説明を行い、平成 25 年度当初から 13 区一斉の試行実施の態勢を整えるなど、簡素で機能的な組織機構の構築を進めることができた。

中項目(4) 人材育成

概ね順調に進捗するも課題あり

【目指すべき姿】

すべての職員が心身ともに健康で、仕事への充実感や向上心を持ち、チームワークの大切さを実感しながら、持てる能力を存分に発揮し、自律的に成長し続けることができる組織づくり、人づくりを目指す。

【平成 24 年度の取組状況と「目指すべき姿」に向けた進捗状況】

人事異動の基本原則等に基づく配置換えを行うとともに、職員の自己申告と上司による育成面談を基調とする人事行政を推進し、仕事への充実感と向上心を高めるための素地を整えた。

新規採用職員や主任級職員など階層別研修のほか、メンタルヘルスなどのテーマ別研修、専門実務研修、長期派遣研修等に取り組んだことにより、職階に応じた基礎的な資質・能力と専門性を高め、健康で業務を遂行できる労務環境づくりに寄与することができた。

《課題・改善点》

人材育成方針に基づく各種の取組を、必要に応じて見直しながら実施し、着実に人材育成基盤を固めつつあるものの、メンタル不調や不適切事務の根絶には至っておらず、育成面談等の充実・強化により、上司及び職場におけるコミュニケーションをさらに高める必要がある。また、今後の幹部級職員の大量退職を見据え、将来の市を担う政策能力が高い職員を早期に育成していく必要がある。

大項目 2

市民社会へのアプローチによる「新しい公共」の創造

平成 24 年度の進捗状況

概ね順調に進捗

【目指すべき姿】

市民が、地域の課題や公共の課題を自らの課題として、主体的に解決に向けて行動する地域社会の創造を目指す。

【平成 24 年度の取組状況と「目指すべき姿」に向けた進捗状況】

市民発意による事業を支援する地域活動支援事業を推進するとともに、ボランティア活動や市民活動団体に関する情報発信や体験ツアー等の実施により、市民活動を広げていくための環境を整えることができた。

市民が地域の課題解決に向けて取り組んでいる活動をまとめた「新しい公共」の事例集を発行し、

市民と行政の協働に向けた啓発に取り組んだ。

中項目（１）近隣社会における共生

概ね順調に進捗

【目指すべき姿】

地域住民が、地域の課題を自らのこととして考え、地域の課題解決や活力向上に向けて、自主的・主体的な取組を幅広く展開している状態を目指す。

【平成 24 年度の取組状況と「目指すべき姿」に向けた進捗状況】

市民発意による事業提案が活発に行われるよう住民への声掛け等の周知を行い、地域活動支援事業を活用した取組が増加するなど、地域の課題解決や地域の活力向上に取り組んだ。

《課題・改善点》

地域活動支援事業の実施については、地域の課題解決等に資する取組が推進されたが、地域によって事業の内容や熟度に差があるなどの課題があり、地域社会を支える「新しい公共」につながる仕組みづくりを再検討していく必要がある。

中項目（２）多様な市民活動

概ね順調に進捗

【目指すべき姿】

市民にボランティア活動を身近に感じてもらうとともに、市民活動団体が活動を拡大し、かつ、安定的に活動を維持できるような体力を備え、地域、団体、個人などの中での様々な関わりにより、地域や活動分野に捉われない市民活動の重層的な広がりが形成されている状態を目指す。

【平成 24 年度の取組状況と「目指すべき姿」に向けた進捗状況】

広報上越やホームページにより、ボランティア活動や市民活動団体に関する情報発信を行ったほか、市民向けのボランティア体験ツアーなどを実施したことにより、地域や活動分野に捉われない市民活動の重層的な広がりや、市民活動団体の活動の拡大に寄与することができた。

中項目（３）市民と行政の協働

概ね順調に進捗

【目指すべき姿】

市民と行政との協働により、双方にメリットがあり、市民に対してより良いサービスを提供できる場合には、互いの役割分担を明確にし連携しながら、市民が必要とする公益事業を展開している状態を目指す。

【平成 24 年度の取組状況と「目指すべき姿」に向けた進捗状況】

協働の在り方を改めて検討するため、NPOや13区住民組織との意見交換を行うとともに、市民が、地域の課題解決のために主体的に取り組んでいる活動をまとめた「新しい公共」の事例集を発行し、市民と行政の協働に向けた啓発に取り組んだ。